

真壁のひなまつり



(表紙写真提供：桜川市)

「真壁のひなまつり」は、町おこしを考える数名の住民有志による「寒い中、真壁に来てくれる人をもてなせないか」というひと言から始まりました。2003年1月、有志たちがお雛様を飾っていると、それを見た近所の家や店にも雛飾りの輪が広がり、いつの間にか40軒もの家や店にお雛様が飾られていました。翌年以降もお雛様を飾る家や店は増え続け、雛人形をはじめ石や花の雛人形など、様々な雛人形を展示する一大イベントとなり、毎年約8万人が訪れています。

真壁のひなまつりの魅力の1つは、おもてなしの心にあふれていることです。雛飾りが人々の目を楽ませるだけでなく、それぞれの家や店が、お茶を振る舞ってくれたり、昔語りを聞かせてくれたりと、心づくしのおもてなしで迎えてくれます。それはまるで人と人の関わりが薄れた現在において、“人の和”の大切さを教えてくれる物語のようです。


もう1つの魅力は真壁地区の町並みにあります。桜川市真壁地区は、江戸時代から明治・大正にかけて文化・産業の地として栄えたことから、隆盛を誇った商人たちによって建てられた蔵や門などが現在でも300余棟残っています。そのうち102棟が国の登録文化財に指定されています。

また、桜川市が歴史的建造物や町並みの保存に努めたことから、平成22年、まちの約17.6haが、茨城県では唯一、国の「重要伝統的建造物群保存地区」へ選定されました。

「真壁のひなまつり」は、例年2月上旬から3月3日まで開催しています。

本稿作成時点、今年のひなまつりは、新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小で開催する予定ですが、感染が急拡大しており、「中止」となる可能性が高まっております。訪問するには、桜川市観光協会ホームページ「真壁のひなまつり詳細情報」(右QRコード)を必ずご確認ください。





《Information》

- ◆所在地
桜川市真壁町真壁
- ◆アクセス方法
 - ・車：北関東自動車道 桜川・筑西ICから国道50号線・県道41号線・県道7号線経由20分
常磐自動車道 土浦北ICから国道125号線・県道41号線経由で約50分
 - ・電車：JR水戸線岩瀬駅よりタクシーで20分